

## 第3章 目指すべき環境のすがた

近年、地球温暖化対策は国際的にも重要性が高まっています。気温上昇や海面水位の上昇等、地球全体としての課題のみでなく、ヒートアイランド現象やゲリラ豪雨による道路の冠水、農作物への影響にも密接にかかわっており、それぞれの地域で取り組むべき課題となっています。

本市でも、「ゼロカーボンシティふかや」を宣言し、脱炭素に向けた取組や、循環型社会の構築による資源の利活用を目的とした 3R（Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用））の推進を重要施策としています。

ゼロカーボンシティの実現は、郷土の偉人渋沢栄一の「論語と算盤」の思想、「経済活動をする上で、常に社会貢献や多くの人の幸せの実現といった公益を追求しながら、同時に個人の利益を上げていく」、まさに、栄一がその人生を通じて体現した「公益のために生きる」につながると考えます。

生活の利便性の向上や新型コロナウイルス感染症の影響による「新たな生活様式」に対応しつつも、環境を保全していく新たなライフスタイルを構築し、環境負荷の低減を図る持続可能な社会を目指すものとし、前計画の考えを継承するとともに、SDGsの視点を取り入れた望ましい環境像を設定します。

### 目指すべき環境のすがた

安心とやすらぎを感じられるまち  
～市民が住みやすく地球環境がまもられるまち～

これらの目標を実現するために、本計画では、本市の現況や市民・事業者の意識調査、これまでの本市の取組などから、5つの基本目標を定め、その目標を達成するために施策を推進します。

#### 基本目標1 地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり

地球温暖化への対策は、世界が直面している喫緊の課題の一つと考えられています。このため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量を抑制する必要があります。公共交通の利用の推進やエコカーの積極的な導入により、二酸化炭素の排出量を削減することを目指します。

また、恵まれた多くの緑の保全や鐘撞堂山などに広がる森林保全などを推進することで二酸化炭素の森林吸収を促進し、地球温暖化の影響を軽減することを進めます。

さらに、既存のエネルギー利用についてさらなる省エネルギー化を進めることや太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入を推進することによって、エネルギーの利用による温室効果ガスの排出削減を推進し、地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくりを目指します。

## 基本目標2 資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり

食料や製品を生産するために必要な資源は無限にあるものではなく、また、将来的に世界人口の増加が予測されていることから、ますます効率的に資源を活用することが求められています。

さらに、製品の生産にはエネルギーも利用されるため、生産された製品等を長期に有効利用することが、エネルギーの効率的な利用上からも重要になります。

このため、3R（リデュース、リユース、リサイクルの3つのRによる省資源利用）活動などの資源の有効利用や分別の促進によるごみの減量化、資源の再利用化などにより、市民、事業者及び行政が連携・協働し、循環型社会の実現に向け、資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくりを目指します。

## 基本目標3 自然が守られるまちづくり

本市には、河川や緑地などの数多くの自然環境が存在しています。これら豊かな自然環境は生き物にとって貴重な生息空間をもたらしています。さらに豊かな自然とのふれあいにより、人々が心豊かとなることも期待されます。

そのため、こうした恵まれた自然や生き物の環境を適切に守っていくことが必要となる一方で、近年では、外来生物による生態系に悪影響を及ぼす問題も発生していることから、在来生物の適切な保護と特定外来生物への適切な対策を行い、自然が守られるまちづくりを目指します。

## 基本目標4 健康で安全に暮らせるまちづくり

市民や事業者にとって、より身近に感じる大気や悪臭、周辺の騒音や振動などの生活空間の環境を良好なものに保ち、健康的に過ごすことができる環境を維持するよう努めます。

また、本市の自然環境を適正に保存し、管理することで、心休まる周辺環境を保全するまちづくりを進めます。

一方で、今日では様々な事業活動において、多くの化学物質が利用されているため、これら化学物質による土壌や地下水などへの汚染の監視・管理を適切に行うことが必要となります。また、近年増加しているゲリラ豪雨による道路の冠水、住居の浸水などの対策等も進め、健康で安全に暮らせるまちづくりを目指します。

## 基本目標5 協働で環境を守るまちづくり

環境保全への取組は、行政のみの努力で達成することは容易でなく、市民や事業者の理解や協力を得ることによって、効果的に進めて行くことができます。そのため、本市のさまざまな環境の現状について情報発信や環境に関する学習機会を作り、市民や事業者の関心を高めていくことが大切です。また、環境保全を効果的に実施するための連携強化や様々な関係者の間でネットワークの構築を進め、市民、事業者及び行政による協働で環境を守るまちづくりを目指します。

# 計画の体系図

目指すべき環境のすがた	基本目標	基本方針	施策	
安心とやすらぎを感じられるまち 市民が住みやすく地球環境がまもられるまち	1 地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり	1-1 「ゼロカーボンシティふかや」を実現する		
		(1) 温室効果ガス排出量の削減 (2) 使用エネルギー削減への取組推進 (3) 再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー導入推進 (4) 「ゼロカーボンシティふかや」実現に向けた地域循環共生圏の構築		
		1-2 深谷市の事務事業から出るCO2の削減		
		(1) 公共施設におけるエネルギー使用量削減に向けた取組の実施 (2) 省エネルギー設備、新エネルギーの導入推進 (3) 公共施設等におけるエネルギー効率改善 (4) 公共施設の緑化推進		
		1-3 気候変動への適応		
		(1) 科学的知見の情報収集 (2) 対策の緊急性と連携 (3) 影響のモニタリング (4) 市民・事業者・滞在者・行政との情報共有と連携		
		2 資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり	2-1 3Rの推進とごみ排出量の削減	
			(1) ごみの3R(発生抑制・再使用・再生利用)推進による循環型社会の実現 (2) 分別の促進による処分量の削減	
			2-2 適切な廃棄物処理の実施	
	(1) 廃棄物処理設備の整備 (2) 不法投棄などによる未処理廃棄物量の削減			
	3 自然が守られるまちづくり		3-1 自然やみどりの環境の保全	
			(1) 自然緑地の適正管理、公園等の緑地の保全 (2) 水辺の環境保全の推進	
		3-2 生き物の多様性の保全		
		(1) 地域の生態系の保全 (2) 特定外来生物対策		
	4 健康で安全に暮らせるまちづくり	4-1 安全な生活環境の保全		
(1) 湧水・地下水・土壌などの環境の保全 (2) 健康を脅かす有害物質等の監視				
4-2 心休まる環境の保全				
(1) 空気のきれいさ・静けさなどの生活環境の保全				
5 協働で環境を守るまちづくり	5-1 環境への関心の喚起と環境情報の提供			
	(1) 学校や市民への環境学習機会の確保 (2) 環境情報ツールの普及促進			
	5-2 各主体間の連携強化と環境保全活動の実施			
	(1) 人づくりやネットワーク構築の支援 (2) 環境保全活動の開催、関連団体への支援			

推進する取組み例

脱炭素なライフスタイルへの転換を推進します	エコカーの普及啓発に努めます
省エネについて普及啓発を実施します	クールビズ・ウォームビズを励行します
地域新電力を活用し、公共施設における再生可能エネルギーの導入を図ります	
地域新電力を活用し、エネルギーの地産地消を推進します	再生可能エネルギーを利用した創エネ機器の導入を推進します
昼休み、業務時間外については、必要な部分以外は消灯します	
照明設備の更新を推進します	クールビズ・ウォームビズを励行します
公共施設改修等に伴う省エネルギー化を推進します	新エネルギーの導入を推進します
公共施設への緑のカーテンの積極的導入を推進します	事業部門(上下水道事業)における省エネルギー化を推進します
公共施設への緑のカーテンの積極的導入を推進します	周辺や屋上の緑化を推進します
気候変動に関する情報収集・情報提供に努めます	
暑熱による生活への影響の把握と対策を行います	暑熱による生活への影響の把握と対策を行います
熱中症の注意喚起や情報提供に努めます	透水性舗装などにより、ヒートアイランドの低減に努めます
埼玉県気候変動適応センターと連携し、関連情報の収集・整理・分析、提供につとめます	
建物緑化(緑のカーテン等)を推進します	まちのクールオアシスの取組を推進します
3R活動の普及啓発をします	
家庭系ごみの減量化・資源化に関する普及啓発をします	家庭系ごみの減量化・資源化に関する普及啓発をします
分別の徹底を図るため、わかりやすいパンフレットの作成などごみを適正に排出しやすい環境づくりを行います	
大里広域市町村圏組合と調整しながら廃棄物処理施設の計画的な整備・改修を進めます	
広報紙などを活用し、土地の管理の徹底や市民の不法投棄の監視意識の向上を図ります	
防風林、雑木林等の林地を保全します	
遊休農地の解消に努めます	遊休農地の解消に努めます
市民等による河川等の清掃活動を支援します	河川・水路等の維持・整備をします
自然観察会や環境学習の場・機会を確保します	
農業に関する情報の普及促進に努めます	農業に関する情報の普及促進に努めます
アライグマを捕獲し、農作物等被害の根絶を目指します	特定外来生物の防除方法について情報を提供します
豪雨時の排水能力確保と氾濫防止をします	
雨水等の地下浸透による地下水涵養を促進します	雨水等の地下浸透による地下水涵養を促進します
国・県と連携し、有害化学物質の監視や適正管理を推進します	国・県と連携し、有害廃棄物の適正な処分を推進します
騒音・振動・悪臭の発生源への適切な指導等を実施します	
野外焼却パトロールの実施、行為者へ指導します	野外焼却パトロールの実施、行為者へ指導します
自然とのふれあいや環境学習の場・機会を確保します	
学校等においてガーデニングを推進します	学校等においてガーデニングを推進します
ホームページや SNS 等を活用して環境情報を発信します	環境コンテストを実施します
各主体における環境保全活動の連携を推進します	
環境教育の指導者の育成に関する情報を提供します	環境教育の指導者の育成に関する情報を提供します
学校、自治会などの集団資源物回収の取組を支援します	アダプト制度を推進します